

長子配布

平成31年3月12日

保護者様

唐津市立佐志小学校
校長 原口 毅

体罰・いじめアンケート集計結果について（お知らせ）

6月と11月に、「教職員の指導に関するアンケート（体罰調査）」と「いじめに関するアンケート（いじめ調査）」を実施しました。保護者アンケートに回答をいただいた数（回収率）は、6月（91%）・11月（90%）でした。たいへんお忙しい中にアンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。その結果と今後の対応についてまとめましたので、お知らせいたします。

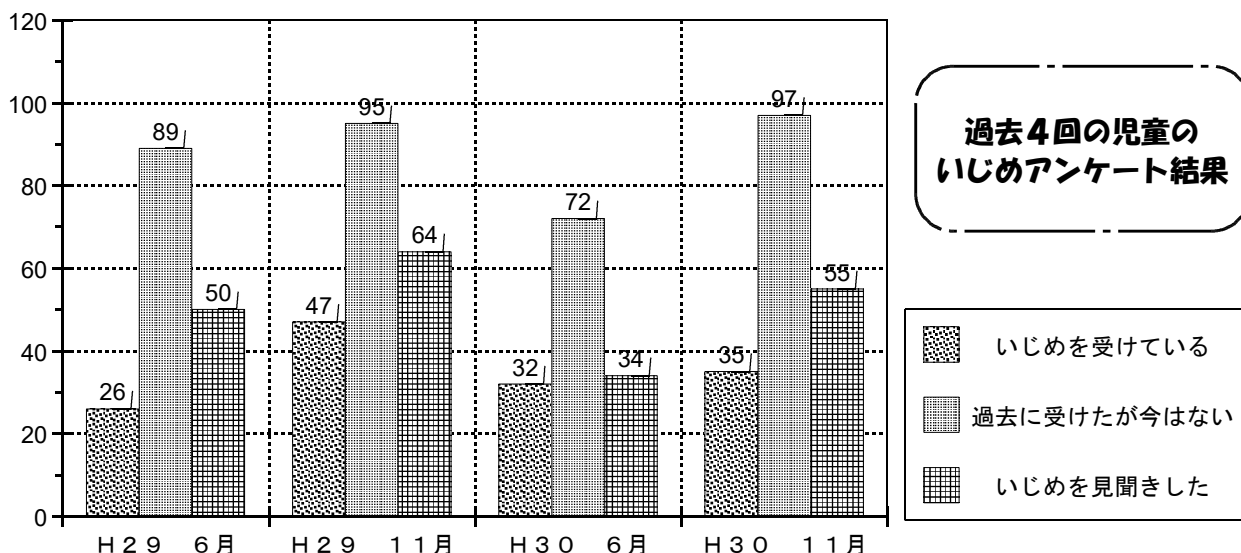
体罰について

アンケートから「明らかに体罰である」という具体的な回答はありませんでした。しかし、体罰の疑いのある報告が数件あり、その中で教職員個人が特定できるような内容については、保護者名は出さずに校長の方で聞き取りや指導を行いました。本校では職員会議等での全体場で「体罰は指導の放棄であり、人権を深く傷つける行為である」ということ、「注意が必要な場合も感情的になって怒らずに、相手に分かるよう叱る」ことを常に確認しあっています。時と場合によっては厳しい叱責が必要な場合もありますが、体罰と懲戒（指導）の違いをはっきりと認識し、今後の生徒指導に生かしていきたいと思っております。

いじめについて

【アンケートの結果】（6月回収率 92%、11月回収率99%）

① 児童アンケート過去4回の推移



昨年度6月のから4回の調査を見てみると、どの項目も増加しています。特に「いじめを受けている」と認識している児童数は急増しています。ただし、数字そのままに「いじめが急増している」という捉え方はしていません。どの学校でもいじめの報告は急増しており、その背景には、社会的ないじめに対する認識が高まっている影響が確実にあります。また、このアンケートで「いじめを受けている」「いじめを知っている」と回答した児童や関係する児童から、一人一人、担任が話を聞き指導を

した結果、そのほとんどが「強い言い方をされた。」「約束を破られた。」「悪口や馬鹿にしたように言われた。」「特定の友だちを独り占めされた。」などのトラブルでした。

こうしたことが起こる原因として、次のような子どもの姿があります。

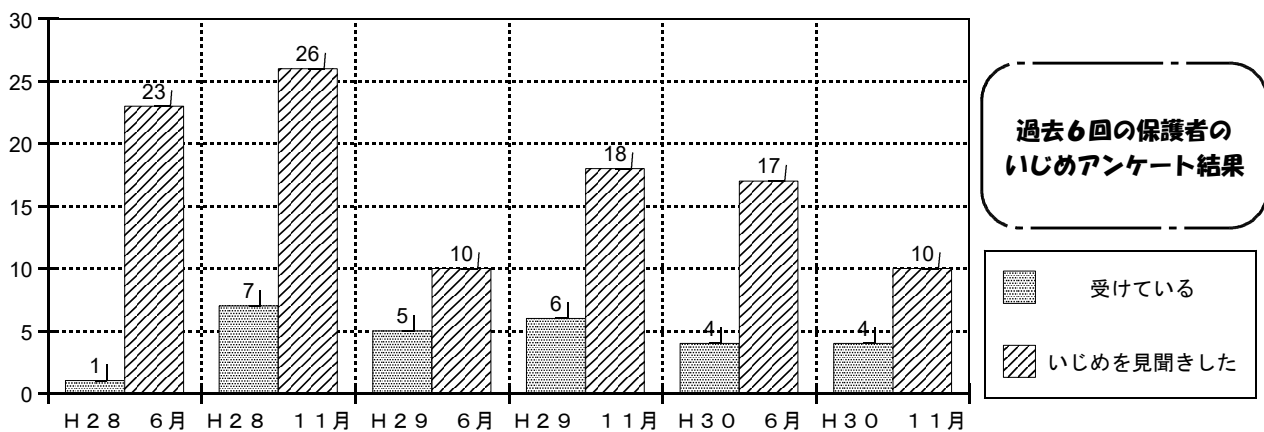
- 友だちが嫌な気持ちになる言動をしているが、そのことに気づいていない。
- 自分が悪かったと思っても、素直に謝ることができない。
- 友だちの間違いを許せず、いつまでも責める。
- 自分と違った考えを受け入れたり、折り合いをつけたりすることができない。
- 互いに折り合いをつけたり、仲直りをしたりできない。
- 自己肯定感（自分を大切に思う、自分に自信をもつ）が低く、どこかイライラしたり、感情が不安定になったりしている。

このように、良好な友達関係を築くために必要な力が十分に育っていない子どもたちがいることが、今回の結果に表れています。そこで佐志小では日頃の生活指導や道徳の授業などで、「親切、思いやり」「正直、誠実」「相互理解・寛容」といったことを身に付けさせていくとともに、いじめは人の命を奪うこともある、絶対にしてはいけないことだということを、継続して指導しているところです。

また、いじめを受けた側の立場にたって、その苦しさやつらさを自分なりに考える（想像する）ことで、いじめとケンカの違いや、いじめの不当性・不合理などを日常的に指導していきます。

さらに、今回聞き取った中には、いじめの兆候ではないかと思われるものもありました。幸い未然に指導することができましたが、より一層、子どもたちの言動に目を配り、嫌な思いをしている児童に話を聞いたり、友だちの嫌がることをしている児童には、その場で指導をしたりするなど、注意深く見守っていきたいと思います。

② 保護者アンケート過去6回の推移（6月回収率 91%、11月回収率 90%）



昨年度の結果と比較すると、「いじめを受けている」「いじめを見聞きした」と回答された数は若干減少しています。また、今年度の6月調査から11月調査にかけて「いじめを見聞きした」と回答された数も減少傾向にあることから、本校で取り組んでいる人権教育・道徳教育の効果が少しずつ広がりを見せていると考えられます。しかし、「わが子はいじめに近いことをされている。」「他学年ではいじめに近いことがあるそうだ。」と受け止めている保護者がおられることもしっかりと把握し、本校が「いじめゼロ」の学校となるための取り組みを継続して行っていかなければなりません。

今回も「いじめを受けている」と回答された保護者のお子さんから、まず、担任が詳しい話を聞き、保護者とも連絡を取り合うなどして詳しく状況を把握し、対応をさせていただいています。今後もいじめを受けている可能性のあるお子さんの様子は、より注意深く見守り、明るい気持ちで学校生活が過ごせるよう支えていきたいと思ひます。

- ◆ 殴られたことがありました。
- ◆ 叩いたり嫌な事を言われたりする。また、嫌な事をされているようです。
- ◆ 先生から「ほら、何しよっか。」とか「お前。」と言われている。
- ◆ ブランコへ行くと、そこにいた上級生から「ぶっ殺すぞ。」と言われたらしい。
- ◆ 上級生から「ばか」とか「下手くそ」とか言われて傷ついた。悔しくて「言わないでください。」と言いつ返そうとしたが、こわくて言えず、涙が出た。
- ◆ 高学年がいじめられているのを見た。
- ◆ 「遊ぼう。」と言っても入れてくれない。仲間に入れてくれなかった。
- ◆ 体のことを言われたことがある。
- ◆ ひどい言葉を言われたり、体にぶつかられたことがあった。
- ◆ 女の子同士でターゲットを変えて仲間はずしをしたと聞いた。
- ◆ 前回（6月アンケート）で担任の先生に伝え、解決に向かいました。
- ◆ 他の保護者さん情報ですが、2年生の女の子が男の子の胸ぐらをつかんでケンカをふっかけていたと聞きました。
- ◆ 無視だったり嫌な事を言われたり、仲間はずしみたいなことをされている。一人でいることが多いような気がする。
- ◆ 掃除の時、「音楽室のカギを持ってきて。」と言われ、取りに行ったところ、カギがなく、仕方なく音楽室に行ったところ、「持ってきて。」と言った子が先に取りに行っていたようで、他の子の前で「なんでカギ取ってこんやっつと。」と言われたようです。
- ◆ 上級生の保護者の方と話をしていると、具体的ではないけれども、嫌がらせなどがあると聞きました。（現在ではないと思います。）
- ◆ 学年が上がっていくと、いじめなどの悩みが出てくる時もあると聞き、不安です。学校でもいじめなどが起こらないように「こころの学習」を続けてほしい。家でも、学年が上がっていても、嫌な事やつらい事をきちんと話してくれるような環境を作っていきたいです。
- ◆ いじめかどうか判断できませんが、仲間に入れてもらえない等はたまに聞きます。
- ◆ 友だちの悪口を言ったり、わざとぶつかったりしているようです。
- ◆ 上級生が低学年をいじめているといううわさを聞いたことがある。
- ◆ いじめではないが、図工の作品をAさんに笑われたことが嫌だったそうです。
- ◆ 机の引き出しがのりだらけになっていたり、ノートに「死ね」と漢字で書いてあったりしていたと聞きました。
- ◆ 誰かはわかりませんが、「殺すぞ。」と言っていたらしい。
- ◆ 子どもから聞いた話ですが、同じクラスのBさんのお兄ちゃんが、登校時にペットボトルや虫あみでお友達を叩いたりしているようです。自分の子どもも叩かれたようです。いじめなどではないですが、弟のBさんも自分の子どもも嫌な思いをしているようです。
- ◆ お友だち間での仲間外れやトラブル等もたまに伺うこともありますが、学校が楽しく過ごせているようです。
- ◆ いじめまではいきませんが、タイプの「合う・合わない」は仕方のないことで、上手に友だちと付き合うことができず、たまにグチを聞くことも多くなりました。前を向いていけるよう親として対応していきますが、やはり見えない学校環境にも表裏なく（先生方も）ご対応いただければ幸いです。